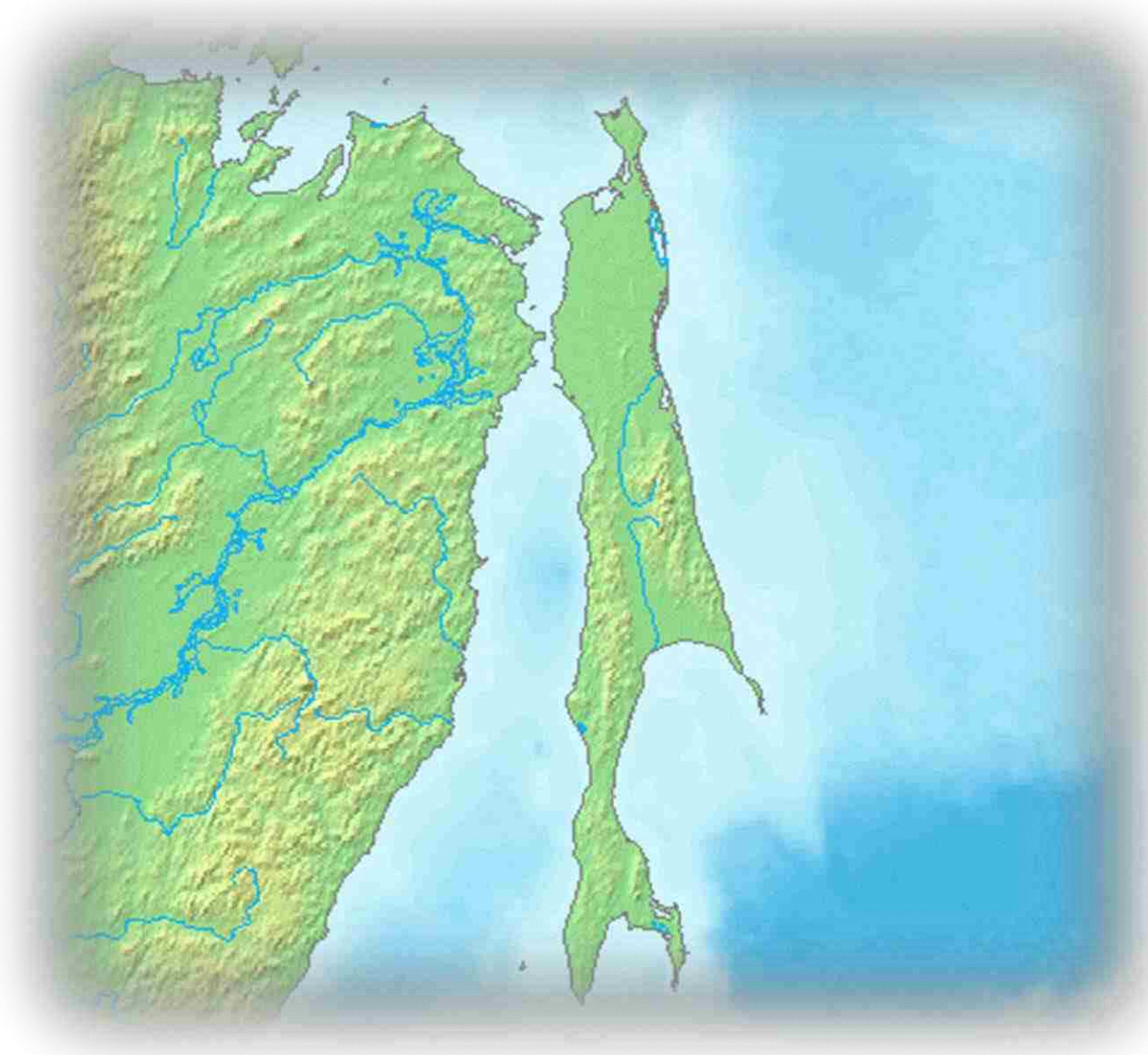


サハリン州の概要～2021年版～



令和3年9月

北海道サハリン事務所

E-mail : hokkaido@snc.ru

目次

I. サハリン州の概要	
概要	1
サハリン州政府機構図	2
【参考】ロシア主要閣僚等	3
【参考】サハリン州の人口	5
II. 経済	
①平均賃金推移	8
②サハリン州当初予算額の推移	9
③産業の概要	
(1) 産業別就業者数、(2) 社会主要項目の動向、(3) 業種別企業取引高	10
(4) 産業別生産量等	11
(5) 消費市場	14
(6) 建設市場、(7) 貨物輸送市場	15
④貿易の概要	
(1) 品目別貿易概況	16
(2) 北海道とロシア連邦の貿易実績	18
⑤エネルギー関連	
(1) サハリンプロジェクト	20
(2) サハリン1,2に関する日本企業の主な動向	22
(3) エネルギー関連の動き	23
III. 北海道とサハリン州	
①北海道とサハリン州の交流	24
②北海道・サハリン州の友好交流	
(1) 道・道内市町村との姉妹友好提携	26
(2) 民間・友好交流団体の友好交流	27
IV. 北海道サハリン事務所の概要	28

I. サハリン州の概要

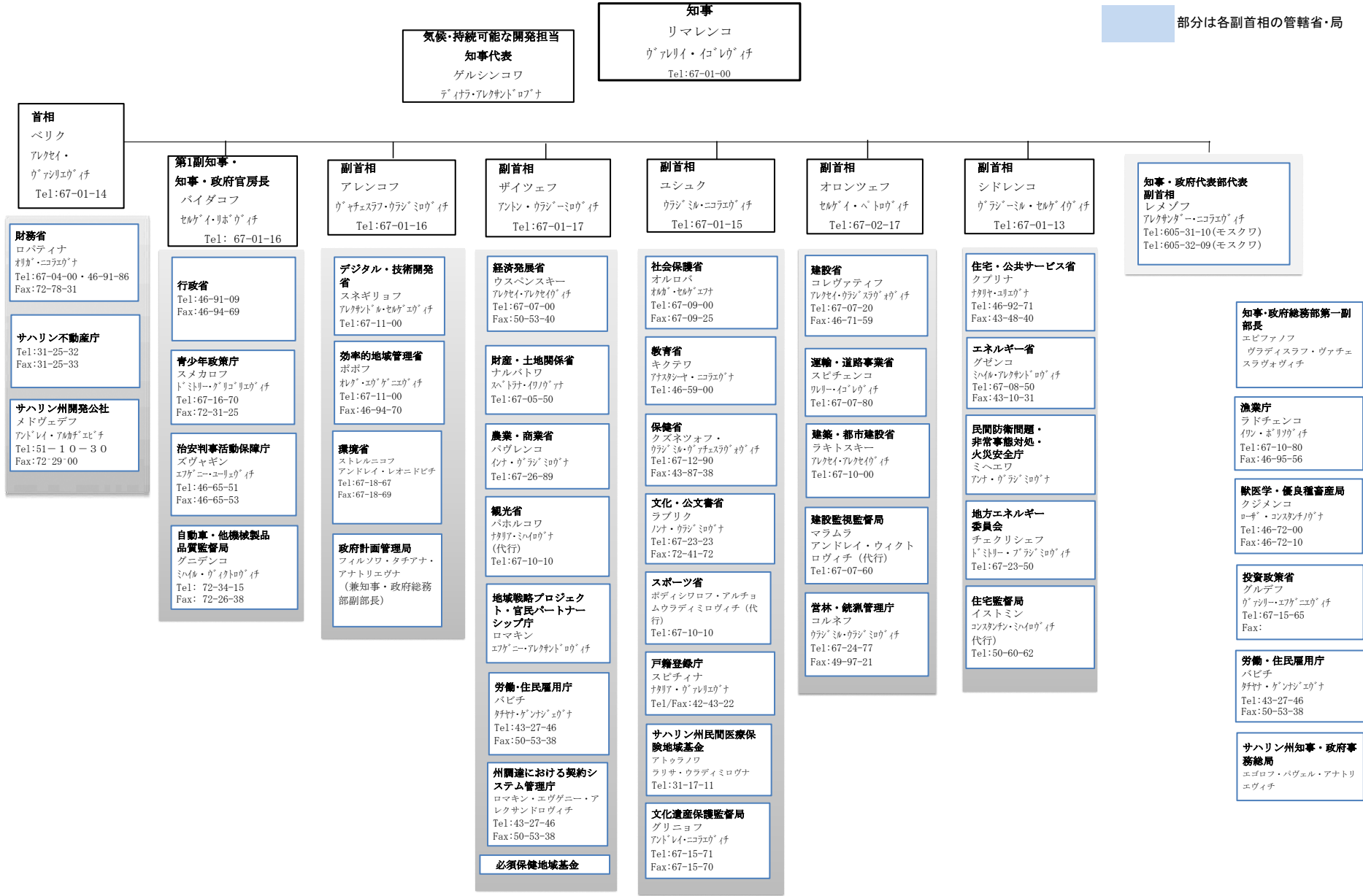
概況	面積	8.7万km ² (北海道8.3万km ²) (うち北方四島5千km ²)
	人口	48.6万人(2021年1月1日時点) (1992年ピーク時74万人) (北海道528万人)
	人口密度	5.6人/km ² (北海道 63.4人/km ²)
	行政府所在地	ユジノサハリンスク市(人口20.7万人) (札幌市 197.5万人)
	地方自治体	21行政区 (15市 6都市型集落)
州政治・連邦政治	民族構成	ロシア人82.3% 朝鮮人5.0% ウクライナ人2.4% タタール人1.0% ベラルーシ人0.6% ニブフ人0.4% 他、少数民族も複数 (2010年)
	知事	リマレンコ V.I. LIMARENKO, Valery Igorevich (2019年9月～)
	州議会議席数	28議席[選挙区(14選挙区×定数1) 比例代表(定数14)]
	議長	ハポチキン A.A. HAPOCHIKIN, Andrey Alekseevich
	ユジノサハリンスク市長	ナドサディン S.A. NADSADIN, Sergei Aleksandrovich
	極東連保管区大統領全権代表	トルトネフ Y.P. TRUTNEV, Yurii Petrovich
	連邦院(上院)議員 サハリン州選出	アルハロフ Y.V. ARKHAROV, Yuri Viktorovich
州財政	国家院(下院)議員 サハリン州選出	カルロフ G.A. KARLOV, Georgy Alexandrovich
	財政予算(一般) (2021年当初予算)	歳入: 1,092億8,076万ルーブル(約1,639億円) 歳出: 1,297億2,834万ルーブル(約1,946億円) ※道当初予算: 3兆2,530億円
州経済	歳入に占める連邦からの移転資金の比率	5.8%(2021年当初予算) (前年6.0%) ※参考 2012年サハリン州14.0% 2020年ハバロフスク地方20.5% 道2021当初予算 地方交付税19.4%+国庫支出金16.0%=35.4%
	州内総生産額(GRP) (2019年)	1兆1,738億ルーブル(約1兆7,608億円) (対前年99.5%) (2017年度 道内総生産19兆4,301億円) ※ロシア国内総生産(GDP) 109兆1,930億ルーブル(約163兆7,895億円) (同比104.3%)
	主要産業	石油ガス産業、石炭産業、水産業、電力産業
	企業・組織数	15,049件(前年比△689件) 個人事業主 18,314名(同比+389名) 2020年初値
	外資企業数	110社(うち日本5社) (2015年1月1日時点、以降公表なし)
生活水準	露企業との合併企業数	123社(うち日本11社) (2015年1月1日時点、以降公表なし)
	貿易額(2020年) 輸出 輸入	11,323百万米ドル(約1兆2,455億円) (対前年74.5%) 741百万米ドル(約815億円) (対前年77.9%) ※全ロシア 輸出 336,394百万米ドル(約37兆33億円) (同比79.5%) 輸入 231,430百万米ドル(約25兆4,573億円) (同比94.9%)
	一人当たり平均賃金	92,517ルーブル/月(約13.9万円) (2020年1～12月平均) (前年比105.8%)
教育機関	失業率(ILO方式)	5.5%(2020年平均) ※参考 ロシア全体5.8%、北海道3.0%(2020年平均)
	消費者物価指数	105.0 (2019年と2020年を対比) (前年指数 103.5%)
	自動車個人保有率	住民千人当たり315.0台(2018年) ※2009年:住民千人当たり277台
	交通事故	2019年の発生件数627件(前年比86.5%)、死者数80人(前年比85.1%)
主な日本機関等	乳児死亡率(0～1歳)	出生千人当たり4.5人(2020年)
	出生時平均余命	男64.6歳 女75.5歳(ロシア平均 男67.7歳 女77.8歳) (2018年)
	婚姻数、離婚数	婚姻数3,393組(前年比108.7%)、離婚数2,465組(同比103.4%) (2019年)
主な新聞	高等教育機関	高等教育機関数 4校(分校含む) 在籍者数 7,000人(2017-2018年)
	主な研究機関	海洋地質学・地球物理学研究所等 ロシア科学アカデミー極東支部3機関など
	主な新聞	ソヴェツキー・サハリン紙、グベルンスキエ・ヴェドモスチ紙、アルグメンティ・イ・ファクティ紙など
主な日本機関等	在ユジノサハリンスク日本国総領事館	サハリン日本センター
	TEL: (7-4242-) 72-60-55 FAX: 72-55-31	TEL: (7-4242-) 72-70-28 FAX: 72-70-30
	北海道サハリン事務所	稚内市サハリン事務所
	TEL: (7-4242-) 45-75-61 FAX: 45-75-63	TEL: (7-4242-) 22-47-10 FAX: 22-47-10
北海道新聞ユジノサハリンスク支局	北海道銀行ユジノサハリンスク事務所	
TEL: (7-4242-) 45-53-04 FAX: 45-50-14	TEL: (7-4242-) 45-75-23 FAX: 45-75-24	

※サハリン州国家統計委員会資料等をもとに作成 ※1ルーブル=1.5円、1米ドル=110円で換算

サハリン州政府機構図

2021年9月1日現在

部分は各副首相の管轄省・局



※【参考】ロシア主要閣僚等

連邦政府 2021年9月1日現在

【ロシア連邦政府HPより】

首相 ミシュスティン ミハイル・ウラジミロヴィチ										
第一副首相 ペロウソフ アンドレイ・レモヴィチ	副首相兼政府官房長官 グリゴレンコ ドミトリー・ユーリエヴィチ	副首相 アブラムチェンコ ウキトリア・ワレソワナ	副首相 ボリソフ ユー・イリヤ・イリ	副首相 ゴリゴヴァ オレクサンドル・ワレシコ	副首相 ノヴァク アレクサンドル・ワレンチノ	副首相 オヴェルチュク アレクセイ・ログヴィノヴィチ	副首相 フスマリン マクトク・シャキルジャンノヴィチ	副首相 チェルニシエンコ ドミトリー・ニコラエヴィチ	副首相兼大統領府長官 大統領令代表 トルトネフ ユーリ・パヴロフ	

各省大臣

北極圏開発大臣 チェクンコフ A.O.	天然資源・環境大臣 コスロフ A.A.	内務大臣 コロコリツェフ V.A.	法務大臣 チュイチェンコ K.A.	文部大臣 クラフツォフ S.S.	外務大臣 ラフロフ S.V.	教育・科学大臣 フリャコフ V.N.
産業・貿易大臣 マントウフ D.V.	文化大臣 リュビモフ O.B.	建設・住宅公営事業大臣 フェイスリン I.E.	スポーツ大臣 マトイツイン O.V.	通信・マスコミ大臣 シャダエフ M.I.	エネルギー大臣 シュルギノフ N.G.	民間防衛・非常事態・災害復旧大臣 ジニチェフ E.N.
国防大臣 ジョイグ S.K.	財務大臣 シルアノフ A.G.	保健大臣 ムラシコ M.A.	運輸大臣 サヴェリエフ V.G.	農業大臣 パトルシェフ D.N.	労働・社会保護大臣 コチャコフ A.O.	経済発展大臣 レシェトウニコフ M.G.

ロシア連邦地図



※HP「ニジェカ」ロツキート「ウォール」のロシア連邦の白地図を引用

大統領府2021年9月1日現在

【ロシア大統領府HPより】

大統領 プーチン ウラジミール・ウラジミロヴィチ					
大統領府長官 ヴァイノ アンソニー・ブリンコフ		大統領府副長官 キタエフ ゲオルギイ・キタエフ			
第一副長官 キリエンコ セルゲイ・ウラジミロヴィチ	第一副長官 グロモフ アレクセイ・ワレシコ	副長官 マゴメドフ マゴメド・マゴメドフ	副長官 コザク ドミトリー・ニコラエヴィチ	副長官 オストロヴエンコ ウラジミール・エヴゲニエヴィチ	副長官兼大統領報道官 ベスコフ ドミトリー・セルゲエヴィチ

補佐官

- ・ブリチョヴァ I.I.(大統領国家法務局長兼任)
- ・レヴィチン I.E.
- ・カリムリン D.R.(大統領報道局長兼任)
- ・メデンスキー V. R
- ・オレシキン M. S.
- ・セリシエフ A. A.
- ・シャリコフ D. V.(大統領府内部統制局長兼任)
- ・ウシャコフ Yu. V.
- ・フルセンコ A. A.

大統領顧問

- ・ワシリエフ V.A.
- ・コビャコフ A.A.
- ・レヴィツカヤ A.Yu.
- ・トルストイ V.I.
- ・ファチエフ V. A.
- ・エチルワリエフ S-Kh.(気候大統領スペシャル代表)
- ・イワフ S. B.(自然保護・環境・交通大統領スペシャル代表)

コミッショナー

- ・クズネツォフ A.Yu.(児童人権における大統領全権代表)

大統領全権代表

- ・ムラヴヨフ A.A.(連邦会議大統領全権代表)
- ・ミンフ G.V.(国家院[下院]大統領全権代表)
- ・コノワロフ A.V.(憲法裁判所大統領全権代表)

連邦管区大統領全権代表

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ・コマロフ I. A.(沿ヴォルガ連邦管区) | ・ショゴレフ I.O.(中央連邦管区) |
| ・グツァン A.V.(北西部連邦管区) | ・チャイカ Yu.Yu.(北コーカサス連邦管区) |
| ・メニャイロ S.I.(北オセチア共和国・アラニア首脳臨時代表) | ・トルトネフ Yu.P.(極東連邦管区)(副首相兼任) |
| ・ウステイノフ V.V.(南部連邦管区) | ・ヤクシェフ V. V.(ウラル連邦管区) |

ロシア政治体制について

- (1)政治体制～連邦制
- (2)国家元首～連邦大統領(6年任期、ロシア連邦国民から直接選挙に基づき選出。2期を超えて続けて大統領になることはできない。)
- (3)首相～国家院の同意を得て、ロシア連邦大統領より任命。
- (4)副首相、閣僚～首相の提案に基づいて連邦大統領が任命、解任。
- (5)連邦議会～二院制。上院は連邦院、下院は国家院。
 - 連邦院～選挙によらず、85の各連邦構成主体から2名の代表を選出。(行政府、議会から各1名) 任期は各連邦構成主体の規定による。
 - ※「クリミア共和国」、「セバストーポリ市」含む。
 - 国家院～比例代表選挙、450名の議員によって構成。任期は5年。
 - ※ロシア連邦憲法の定める場合において、規定の手続きに従い、大統領による議会解散権有り。

ロシア連邦中南部の連邦管区(2021年9月1日現在)※p.3の一部拡大



中央連邦管区

1. モスクワ市
2. ベルゴロド州
3. ブリャンスク州
4. ヴラジーミル州
5. ヴォロネジ州
6. コストロマ州
7. カルーガ州
8. イヴァノヴォ州
9. クルスク州
10. リペツク州
11. モスクワ州
12. オリョール州
13. リャザン州
14. スモレンスク州
15. タンボフ州
16. トヴェリ州

北西連邦管区

1. サント・ペテルブルク市
2. カレリア共和国
3. コミ共和国
4. アルハンゲリリスク州
5. ネネツ自治管区
6. ヴォログダ州
7. カリーニングラード州
8. レニングラード州
9. ムルマンスク州
10. ノヴゴロド州
11. プスコフ州

南部連邦管区

1. ロストフ州
2. アディゲ共和国
3. カルムイキア共和国
4. クラスノダール地方
5. アストラハン州
6. ボルゴグラード州
7. クリミア共和国
8. セバストーポリ市

沿ヴォルガ連邦管区

1. ニジニ・ノブゴロド州
2. チュバシ共和国
3. キーロフ州
4. マリ・エル共和国
5. モルドヴィア共和国
6. バシコルトスタン共和国
7. オレンブルグ州
8. ベンザ州
9. ペルミ地方
10. サマーラ州
11. サラトフ州
12. タタルスタン共和国
13. ウドムルト共和国
14. ウリヤノフスク州

北コーカサス連邦管

1. スタヴロポリ地方
2. タゲスタン共和国
3. 北オセチア共和国
4. カバルダ・バルカル共和国
5. チェチェン共和国
6. カラチャイ・チェルケス共和国

※HP「ニジニ・ノブゴロド州」のロシア連邦の白地図を引用

【参考 サハリン州の人口(管区)】

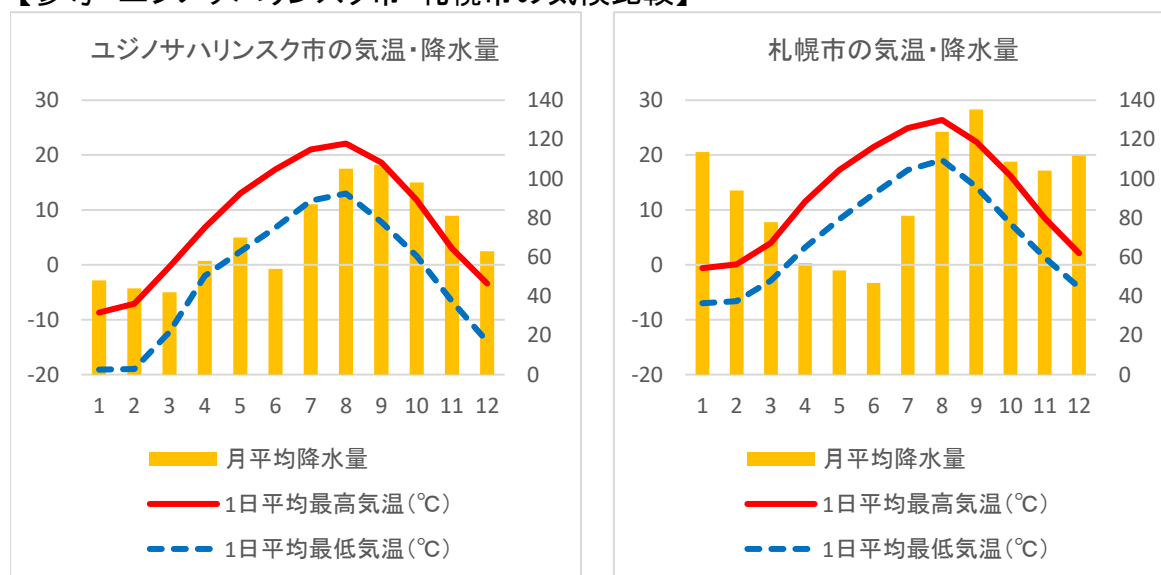
(単位:人, %)

	2019	2020		2021	
	人口	人口	前年比	人口	前年比
サハリン州	489,638	488,257	99.7	485,621	99.5
ユジノサハリンスク	208,000	207,708	99.9	207,284	99.8
オハ	22,222	21,827	98.2	21,572	98.8
ノグリキ	11,333	11,971	105.6	12,209	102.0
アレクサンドロフスク・サハリンスキー	10,887	10,650	97.8	10,561	99.2
トイモフスク	14,119	14,039	99.4	13,920	99.2
スミルヌイフ	11,742	11,658	99.3	11,566	99.2
ポロナイスク	21,578	21,592	100.1	21,510	99.6
ウグレゴルスク	17,306	17,125	99.0	16,718	97.6
マカロフ	7,731	7,631	98.7	7,362	96.5
トマリ	7,859	7,838	99.7	7,893	100.7
ドリンスク	24,001	23,987	99.9	23,816	99.3
ホルムスク	36,568	35,924	98.2	35,185	97.9
アニワ	19,569	19,545	99.9	19,656	100.6
ネベリスク	15,098	14,829	98.2	14,546	98.1
コルサコフ	40,838	40,975	100.3	40,322	98.4
セベロクリリスク	2,485	2,593	104.3	2,691	103.8
クリリスク	6,485	6,480	99.9	6,799	104.9
ユジノクリリスク	11,817	11,885	100.6	12,011	101.1

* サハリン州国家統計委員会の資料に基づき作成(各年1月1日時点)

* 各行政区(中核となる市と周辺の集落とで構成)の人口を掲載

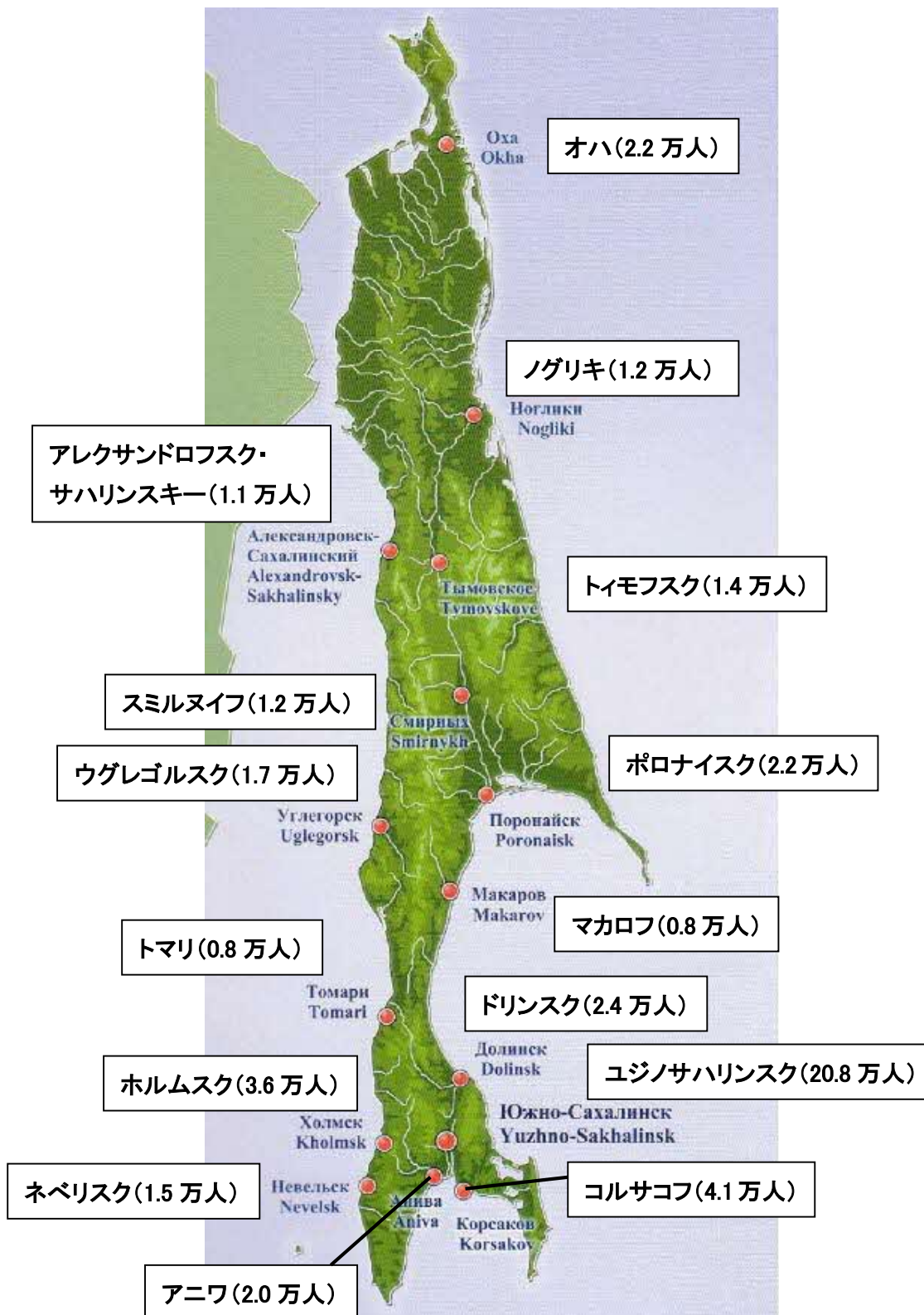
【参考 ユジノサハリンスク市・札幌市の気候比較】



* 世界気象機関サイトデータに基づき作成(1981-2010の30年平均で算出)

各管区の位置・人口

※人口は、2021年1月1日現在(サハリン州国家統計委員会)



※各地域の姉妹友好提携は p.27 に掲載

※地図は写真集「Morning Islands」(サハリン州行政府を主体とした編集委員会が編集・刊行)より